



飛翔

令和7年
10月号

「人を活かす」から、
「人が生きる」へ。

国内企業視察
(トゥモローゲート株式会社)
9月例会



(一社) 岐阜県経営者協会
青年経営者部会 9月例会

多様性
異文化
コミュニケーション
知・理解・容認
そして、行動

発行: (一社) 岐阜県経営者協会 青年経営者部会

本年度の国内研修は、1日目に大阪市のトゥモローゲート株式会社を訪問し、代表取締役・西崎康平氏のご講演を拝聴いたしました。

第一部では、同社の特徴的なオフィスを見学しました。社員のアイデアを反映した空間には、子どもが遊べるスペースやアルコールを自由に楽しめるバー、仮眠スペースなどが設けられており、働きやすさと遊び心を兼ね備えた工夫が随所に見られました。さらに、ロッカーには社員の顔写真や年間アワードの星が掲示され、モチベーション向上に寄与している点も印象的でした。

第二部では、西崎代表より「人を活かす経営」の根幹について、自社の取組みを交えてご講演いただきました。独立時から掲げる「世界一変わった会社をつくる」という想いを実現するために、VISION マップを策定し、数値目標と日々の行動指針を明確化していることをご紹介いただきました。幹部が作成したマップの骨格をもとに、最終的には社員と共に完成させたこと、また評価制度との連動や年1回のVISION を考えるミーティングなどを通じて浸透を図っていることが強調されました。また、社員提案から生まれた45のユニークな制度も紹介され、まさに「人が活きる経営」の具体例として深い学びを得ることができました。

講演後の質疑応答や、同社キッチンスペースで行われた懇親会でも活発な意見交換が行われ、参加者にとって大変有意義な時間となりました。

2日目は、現在開催中の 大阪・関西万博（EXPO 2025）を訪れました。未来社会をテーマとした展示やパビリオンを巡り、世界各国の多様な取り組みに触れることができました。炎天下ではありましたが、会員同士で感想を語り合いながら親睦を深める貴重なひとときとなりました。



トゥモローゲート(株)
代表取締役 西崎康平 氏



社員のアイデアを反映した、
黒を貴重にした特徴的なオフィス



西崎社長の考える「ブランド」とは、
「顧客」「求職者」「写真」への約束とのこと



オフィス内には滑り台も！
率先して試す伴会長



今回の企業視察を企画した吉村委員長と
司会の久江副委員長



有名シェフを正社員雇用した「大阪で一番
オモシロイ社員」食堂にて懇親会を行いました



広報委員会
委員 酒井 本文

会のあとに

「世界一変わった会社」を実現するために、「オモシロイ」を世の中に生み出すという方向性を掲げ、その基準として「ささる」(心に突き刺さる)8項目と「あがる」(定量的な成果が上がる)8項目のうち、各3項目以上を満たすことを条件としているとのことでした。第一部で見学したオフィスもその方程式を満たすアイデアが採用されていました。心と数値の判断基準を明確にすることで、社員へのフィードバックも的確になります。「人を活かす」ための気づきを得られた研修となりました。

9月例会では、元国土交通省職員で JICA 専門家として海外協力に携わられた高田昇一氏を講師に迎え、『『人が活きる』異文化理解～信頼関係を築く異文化コミュニケーション～』をテーマにご講演いただきました。東南アジアを中心に国際プロジェクトに従事してこられた経験から、異文化を理解する姿勢の大切さを語られました。

高田氏は、異文化とは多様性のことであり、文化に善悪や優劣はない、と強調しました。コミュニケーションとは、相手を知り、理解し、受け入れたうえで行動することが重要であり、これが信頼関係を築く第一歩になると述べられました。

ベトナム語の「漢越音」と日本語の音読みの共通性を紹介し、違いの中に共通点を見出すことの重要性を示したうえで、人前で叱らない・女性を尊重する文化など、ベトナムの特徴にも触れられました。

高田氏は、異文化理解とは単に違いを知るのではなく、「人を理解し、人が活きる関係を築く」ための姿勢であるとまとめられました。文化の違いを超えて互いを尊重し合う心の大切さを改めて感じる講演となりました。



講師の高田昇一氏



異文化コミュニケーションの第一歩は「理解と行動」



伴会長から高田氏に記念品が手渡されました



例会を担当した千賀委員長

広報委員会
委員 高井 知洋

会のあとに

国際支援など多方面でご活躍され、異文化コミュニケーションの実践者であられる高田章一氏より、「人が生きる」日本型経営の切目で貴重なご講演を頂きました。

アセアン諸国との日本の経済成長率や貿易、投資などの比較から、人口減少が進む中、異文化との協働が重要になることを教えて頂きました。ベトナムを例に、国際的な視点から感じた文化や価値観の違いを埋める工夫や体験談は、多様性を理解しやすいものでした。外国人だけでなく日本人同士でも育った環境や年齢から生じる価値観の違いが支障になることもあります。

相手を認め関心を持ち、思いやりから生まれる信頼が、「人が生きる」日本型経営に必要不可欠であることを実感しました。

最後に、高田氏の気取らない実直な人柄を感じる例会を設営頂いた国際委員会の皆さまありがとうございました。

【青年経営者部会 今後の予定】

秋のゴルフ親睦会 日時：令和7年11月13日(木)

場所：岐阜関カントリー倶楽部 集合：8時10分 スタート：8時36分

令和7年10月吉日発行 編集：(一社)岐阜県経営者協会 青年経営者部会 広報委員会
編集責任者／林 孝拓 編集部／市橋 拓、河村 岳明、宮川 裕一